



いけうち しおね
池内 潮音 工人

(師匠：新山吉紀・真由美 工人)

学生時代から木材に携わる仕事が好きだと思い、縁がありこけし工人の道に進みました。修行を始めて今年で4年目です。

伝統こけしの顔やはねなど、まだまだうまく描けないところもあるので、師匠の作品のようにきれいに描けるようになりたいです。これまで修行してきた成果を、作品展に向けて形にできたらいいなと思います。当日は実演も行いますので、楽しい気持ちでぜひ来てほしいです。



うえだ こうゆう
上田 康友 工人

(師匠：新山実 工人)

こけし村を訪れたときに体験した、絵付けやコマづくりがとても楽しかったので、工人になろうと決めました。修行を始めて今年で4年になります。

伝統こけしを作りながら、江戸独楽も勉強しています。江戸独楽はおもしろい動きをするので、ぜひ皆さんに知ってもらいたいですね。こけしも独楽もまだまだうまく作れないので、背伸びせず、作品展に向けて取り組んでいきたいです。



たかはし ひろと
高橋 博斗 工人

(師匠：小倉勝志 工人)

社会人として働いていましたが、ものづくりが好きだったこともあり、こけし工人の道を選びました。昨年デビューして、修行を始めて今年で4年目ですが、まだまだ自信をもって出せる作品は作れていませんね。師匠の型にならって、伝統こけしを一丁前に作れるようになりたいです。

作品展では感染症に気をつけて、ぜひこけし村に遊びにきてください。



池内潮音 工人



上田康友 工人



高橋博斗 工人

伝統と技術の継承

弥治郎系こけし新人工人の巣立ち

本市の伝統工芸品である「弥治郎こけし」の工人として、昨年度に1人、本年度に2人の若手工人がデビューしました。各師匠のもと、工人見習いとして約2〜3年間修行した3人が、これから一人前のこけし工人として活動をスタートします。

「弥治郎こけし」は、東北に10系統ある伝統こけしの一つで、頭のロクロ模様が大きなた特徴。本市では、毎年全国各地から作品が集う「全日本こけしコンクール」を開催しており、また、「弥治郎こけし村」では、作品の展示や企画展の開催、「弥治郎こけし村ふれあいまつり」を開催しています。それらを通して、訪れる観光客や全国のこけしファンに魅力をアピールしています。また市内小学校では、毎年こけし工人による絵付け体験授業を行い、多くの市民の方に親しまれています。

近年、弥治郎こけし工人の減少と高齢化が進み、後継者の育成が課題となっていました。本市では、こけしづくりの伝統と技術の継承を支援するため、平成23年度から国の緊急雇用事業、平成28年度から地方創生推進交付金事業を活用し、伝統こけし工人後継者育成事業を行ってきました。これまでに工人5人が事業を活用し、修行期間を経てデビューしたほか、独自に師匠に師事しデビューした若手工人も3人おり、市内外で作品の制作や販売、コンクールへの出品などに取り組んでいます。

今回デビューした3人は、9月20・21日に弥治郎こけし村で開催する「弥治郎系こけし新人工人作品発表会」で、初めて作品を出品します。当人による実演・販売も行いますので、工人のデビューを飾る作品展に、ぜひお越しください。

弥治郎系こけし新人工人作品発表会・白石在住弥治郎系こけし工人逸品展

新人こけし工人の作品発表として、実演・展示販売会です。併せて、市内の伝統・新型こけし工人によるアマビエこけし展示販売、遠刈田系こけしの新人工人による展示販売も行います。

- 開催日 9月20日(日)・21日(祝)
- 時間 9:00～17:00
- 入場料 無料
- 📍弥治郎こけし村 ☎26-3993